

注意事項

重要：間違った使い方による怪我や損害、機械の故障等を防ぐため、使用を始める前に取扱説明書の全ての項目をよく読んで正しくお使いください。

- ・ ScanPad をぶついたり、投げたりしないでください。また高いところからの落下などを避け、上から強く押ししたり、曲げたりしないで下さい。
- ・ 異物を挿入したり、上に重いものを乗せたりしないで下さい。内部には壊れやすい部品が使われていますので思わず破損する場合があります。
- ・ ScanPad を異常に高温、または低温の環境で使用しないで下さい。また埃っぽい環境や湿度の高い環境も避けて使用して下さい。
- ・ 通信妨害などの可能性がある場所での ScanPad のご使用はおやめ下さい。
- ・ ScanPad の内部の部品を補修用として販売する事は出来ません。内部部品の修理は正規に認められた施設で専門の技術者によってのみ行われなければなりません。修理等のお問い合わせはお近くの販売店までお問い合わせ下さい。
- ・ 磁場の強い場所や強い磁気を発する物の近くに ScanPad を置かないで下さい。スクリーンダメージやデータ損失につながる場合があります。
- ・ 危険：内部にある充電式リチウムイオンバッテリーを取り外したり交換したりしないで下さい。故障した際は販売店までお問い合わせ下さい。
- ・ 注意：バッテリーと充電器は必ず同封されている物をお使い下さい。間違った充電器の使用によりバッテリーが充電されなかったり、爆発したりする恐れがあります。
- ・ ScanPad の初期化中、データのアップロード、またはダウンロード中に電源を切らないで下さい。プログラムエラーとなる場合があります。
- ・ 初期設定の段階でインストールされているファイルを削除したり、名称変更したりしないで下さい。ソフトウェアの不具合の原因となる場合があります。
- ・ ScanPad を使ってネットワークに接続したり、他の機械と通信したりする場合は常にコンピューターウイルス、ハッカーやスパイウェアの脅威にさらされる可能性があることを認識して下さい。それらの脅威からデバイスやソフト、データを守るために必要な措置を行い、それらを常に最新の状態に保っておくのは全てお客様の責任の下行なって下さい。

ScanPad 使用上の注意

診断を始める前に以下の項目をよく読み注意して診断を行って下さい。

- ・ 自動車診断を行う場合は安全な場所で行って下さい。
- ・ 診断コネクタを長時間使わない場合はバッテリーパワーを保つ為、自動車の DTC から取り外しておくことを推奨します。
- ・ 診断や修理を行う際は目を保護するゴーグルなど日本の工業規格や安全基準を満たした装備を着用して下さい。
- ・ 診断を行う際は換気の良い場所で行う様にして下さい。

- ・ イグニッション ON やエンジンが作動している状態で診断コネクタなどを差し込んだり取り外したりしないで下さい。
- ・ 診断中は自動車が動かない様しっかりと固定して下さい。
- ・ 診断機械やコネクタなどをオイルや水、グリースなどの汚れから守り、ドライでクリーンな状態に保って下さい。
- ・ 運転中の診断機の操作は事故の原因となりますのでおやめ下さい。
- ・ 作動中のエンジンや高温となるパーツからは洋服、髪、手、工具、診断機を遠ざけて下さい。
- ・ エンジンをスタートする前にトランスミッションギアがニュートラル(M/T の場合)またはパーキング(A/T の場合)になっているか確認して下さい。
- ・ 診断機のダメージや不正確なデータ測定を防ぐ為、診断を始める前に自動車のバッテリーが十分に充電されていて、DLC(データリンクコネクタ)と正確に接続されているかどうかをご確認下さい。
- ・ 自動車のバッテリーは硫酸を含んでいて肌に有害な為、バッテリーとの直接の接触は避けて下さい。

ECU 操作上の注意

- ・ イグニッションスイッチが ON の時はバッテリーやケーブルなどを取り外さないで下さい。センサーや ECU の故障につながります。
- ・ ECU の近くに磁気を持つ物を置かないで下さい。溶接を行う前に全ての電源を ECU から取り外して下さい。
- ・ ECU やセンサーなどの診断を行う場合は特に注意して行って下さい。
- ・ ECU ハーネスコネクタ類を再接続する際は強く接続しすぎない様に気をつけて下さい。ECU の中の IC などの電子部品が破損する場合があります。

目次

1	商品について.....	5
1.1	商品紹介.....	5
1.2	商品特徴.....	5
1.3	製品仕様.....	6
1.3.1	構成部品.....	6
1.3.2	各部の名称.....	6
1.3.3	診断コネクタ(12V 専用).....	7
1.4	技術パラメータ.....	7
1.5	パッケージリスト.....	8
2	ご使用前に.....	8
2.1	充電.....	8
2.2	バッテリーの使用について.....	8
2.3	電源 ON/OFF.....	9
2.3.1	電源 ON.....	9
2.3.2	電源 OFF.....	9
2.4	スクリーンロック/ロック解除.....	9
2.4.1	スクリーンをロックする.....	9
2.4.2	スクリーンロックを解除する.....	9
2.5	待機時間を設定.....	9
2.6	画面ロックの設定.....	9
3	Wi-Fi 設定.....	10
3.1	Wi-Fi ネットワークに接続.....	10
3.2	Wi-Fi 接続の解除.....	10
4	診断方法.....	10
4.1	診断ソフトウェア画面レイアウト.....	10
4.2	機能メニュー.....	11
4.3	車両との接続.....	12
4.4	Bluetooth 設定.....	12
4.5	診断を始める.....	12
4.5.1	DTC データの読み取り.....	15
4.5.2	故障メモリの削除.....	16
4.5.3	データストリームの読み取り.....	17
4.5.4	動作テスト.....	19
4.5.5	履歴を見る.....	19
4.5.6	特殊機能.....	20

4.6	修理データ	21
4.7	アップデート	21
4.8	プロフィール	22
4.8.1	連絡先	22
4.8.2	マイコネクター	22
4.8.3	コネクターを登録	22
4.8.4	ファームウェア修復	23
4.8.5	診断レポート	23
4.8.6	個人情報	23
4.8.7	パスワードを変更	23
4.8.8	ヘルプ	23
4.8.9	ログアウト	23
4.9	設定	23
4.9.1	診断ユニット設定	23
4.9.2	オリエンテーション	24
4.9.3	満期リマインダー	24
4.9.4	印刷情報設定	24
4.9.5	ワイヤレスプリンター設定	24
4.9.6	診断フィードバック	25
4.9.7	Scan Pad について	25
5.	その他の機能	26
5.1e	メール	26
5.1.1	メールアカウントの設定	26
5.1.2	メールアカウントの追加	26
5.2	ブラウザ	26
5.2.1	ブラウザを開く	26
5.2.2	ファイルのダウンロード	27
5.3	同期	27
5.3.1	PC との接続	27
5.3.2	アプリケーションのインストール	27
5.4	閲覧履歴の削除	27
6.	Q & A	28
7.	SCANPAD 保証規約	30

1. 商品について

1.1 商品紹介

ScanPad はインターネットアプリケーション用に開発されたアンドロイド型自動車診断機です。製品特徴は幅広い車種を診断可能で、パワフルな診断機能と正確な診断性能を兼ね備えています。

Bluetooth 接続を介して自動車の診断コネクタと様々なモバイル端末と接続する事により今までよりさらに多くのモデルや診断項目を診断できるようになりました。DTC の読み取り、消去、データストリームの読み取り、動作テスト、特殊機能など項目は多岐に渡ります。

さらにモバイルインターネット接続の強みを生かして、ワンクリックアップデートやリペアデータの参照などが素早く行えますのでよりスムーズで正確な診断を助けます。

Android5.1 のオペレーションシステムに 1.7GHz Quad Core CPU を搭載し、スクリーンも 10.1 インチの HD 画面の採用で大きく見やすくなりました。

1.2 製品特徴

診断ツール

A. 診断

- ・ アジア、ヨーロッパ、北米、中国で一般的に走っている車輛モデルの電気制御システムを診断します。診断項目は DTC の読み取り、DTC の消去、データストリーム読み取り、特殊機能等です。
- ・ アンドロイドプラットフォーム専用にデザインされているため、使いやすく、ユーザーフレンドリーなインターフェースとなっています。
- ・ Bluetooth を使ったシンプルな通信方法で診断コネクタとワイヤレスに通信。
- ・ 専用に開発されたカバーで ScanPad 本体を衝撃から守ります。
- ・ VIN Scan システム搭載で素早く電気制御システムにアクセスできます。
- ・ メンテナンス機能や修理機能などの特殊機能をサポートしています。

B. アップデート

Wi-Fi 環境が整っていれば診断ソフトウェアを簡単にアップデートできます。

C. 修理データ

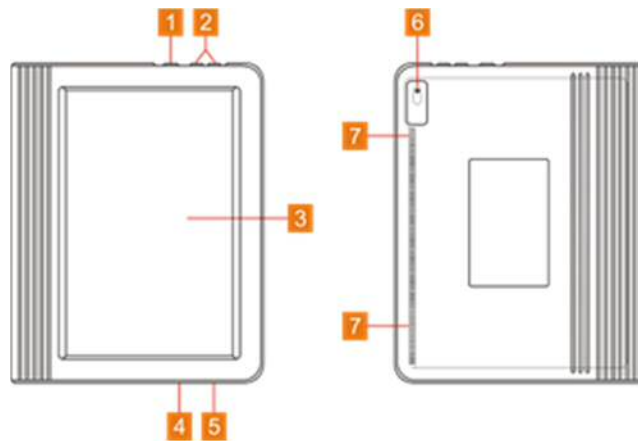
様々な修理データベースやサポート機能を提供します。

1.3 ScanPad 製品仕様

1.3.1 構成部品

ScanPad は主に ScanPad タブレットと DBSCarII 診断コネクタで構成されています。

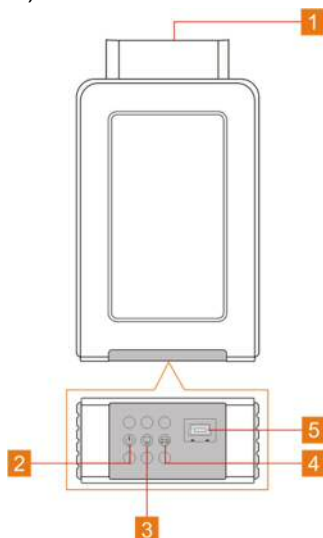
1.3.2.各部の名称



ScanPad101 handset

1. 電源/画面ロックボタン
2. 音量ボタン+/-
3. 液晶スクリーン
4. マイク
5. USB/充電ポート
6. リアカメラ
7. スピーカー

1.3.3 診断コネクタ (12V 専用)



- ① OBD-16 診断コネクタ：車輛の OBDII DLC に接続します
- ② 電源指示燈：コネクタが車の DLC に接続された場合、指示燈が点灯します。
- ③ Bluetooth/USB 通信指示燈：コネクタを車両と接続して指示燈が青になった時 Bluetooth モードに入ります。コネクタが USB に接続したとき指示燈が赤に変わります。
- ④ ECU 通信指示燈：コネクタが車と通信する時点滅します
- ⑤ ミニ USB ポート：USB ケーブルと Scanpad を接続します

1.4 技術パラメーター

ScanPad

オペレーションシステム	アンドロイド 7.1
処理装置	Quad core 1.4GHz
メモリー	2GB
ストレージ	16GB (64GB まで拡張可能)
LCD スクリーン	10.1 インチ 1280×800 ピクセル液晶ディスプレイ
カメラ	5MP のバックカメラ
バッテリー	7000mAh 容量の 再充電可能なリチウムバッテリー

接続

Wi-Fi : WLAN802.11 b / g / n Bluetooth 4.0

使用温度 摂氏 0 ~ 45 度

ストレージ温度 摂氏 -20 ~ 70 度

診断コネクタ

使用電圧 9 ~ 18V

平均使用電流 35mA

待機電流	25mA
使用温度	摂氏-20 ~ 55 度
ストレージ湿度	80%以下
作業湿度	60%以下

1.5 パッケージリスト

ScanPad の内容物は以下の製品を含みます。

- ・ ScanPad 本体
- ・ DBS Car5 診断コネクタ
- ・ 診断コネクタ延長ケーブル
- ・ パスワード封筒
- ・ 充電アダプター&ケーブル
- ・ 保証書/クイックスタートガイド

2 ご使用の前に

2.1 充電



充電方法には 2 通りの方法があります。

電源アダプターからの充電

1. AC 出力タイプによって正しい形状の電源アダプターを選んで下さい。
2. USB ケーブルの一方を電源アダプターに接続して下さい。
3. もう一方を ScanPad の充電ポートに接続して下さい。
4. プラグを AC 電源に接続します。

PC からの充電

1. USB ケーブルの一方を PC の USB ポートに接続して下さい
2. もう一方を ScanPad の充電ポートに接続して下さい。

もし  が表示されたら充電中です。充電が完了すると  が表示されます。USB ケーブルを ScanPad から抜いて充電を終了して下さい。

2.2. バッテリーの使用について

- ・ 長期間バッテリーを使用しなかった場合、またはバッテリーが放電しきった場合はパワー ON になるまでにしばらく時間がかかる場合があります。この場合は 5 分ほど充電してからパワー ON にして下さい。
- ・ バッテリーを充電する場合は必ず同封されているアダプターとケーブルを使って充電して下さい。他のアダプターを使って充電した場合の不具合については一切責任を負いかねます。
- ・ バッテリーの残量が少なくなるとブザー音が鳴ります。また、残量が極端に少なくなった場合は自動的に電源が OFF になる場合があります。

2.3. 電源 ON/OFF

2.3.1 電源 ON

[電源]ボタンを押して ScanPad の電源を ON にします。

注意：ScanPad を初めて使う際やバッテリー残量が無くなってしまった場合は 5 分ほど充電した後再度電源を ON にして下さい。

2.3.2 電源 OFF

[電源]ボタンを 3 秒以上押すとオプションメニューが表示されます。“電源を切る”を選んで ScanPad の電源を OFF にします。

2.4 スクリーンロック/ロック解除

ScanPad101 では様々なスクリーンロックが利用できます。

注意：診断機として頻繁に使用するユーザー様にはスクリーンロックを設定しないことをお勧めしています。

2.4.1 スクリーンをロックする

- ・スクリーンロックが ON の時、[電源]ボタンを一度押してスクリーンロックします。
- ・スタンバイモードを設定している場合、操作をしないまま一定時間が経過すると ScanPad は自動的にスクリーンをロックします。

2.4.2 スクリーンロックの解除

[電源]ボタンを押してスクリーンを起動させ、画面を下から上にスワイプしてスクリーンロックを解除します。

注意：パターンを設定してスクリーンロックを解除する設定にした場合は、設定したパターンを指でなぞってロックを解除して下さい。

2.5 待機時間を設定

長時間操作がない場合、タブレット画面が自動的にロックされ、節電の為システムはスリープモードに入ります。

- 1.ホーム画面, 設定 -> ディスプレイ -> スリープ.
- 2.スリープ時間を選択してください。

2.6 画面ロックの設定

ScanPad が使用されていない時、許可のない操作を避ける為、画面とボタンがロックされます。

- 1.ホーム画面, 設定 -> セキュリティ -> 画面ロック.
- 2.適したロックモードを選択し画面の指示により設定してください。

注意：診断機として頻繁に使用するユーザー様にはスクリーンロックを設定しないことをお勧めしています。

注意：画面ロックのパスワードを忘れた場合端末をリセットする必要があります。データ紛失を防ぐため、リセットをかける前にデータのバックアップをしてください。

注意：端末リセットによるデータの紛失にはメーカーや販売店責任を負いかねます。

3 Wi-Fi 設定

注意：しばらく Wi-Fi を使わない場合はスイッチをオフにして電池の寿命を節約することができます。

ScanPad には Wi-Fi が内蔵されており、インターネットにつながることができます。Wi-Fi に接続すると、ScanPad のユーザー登録、インターネットの閲覧、アプリのダウンロード、そして e メールの使用とソフトウェアを更新することができます。

3.1 Wi-Fi ネットワークに接続

1.ホーム画面, 設定 -> WLAN.

2.Wi-Fi スwitch を ON にして、ScanPad が接続可能なワイヤレスネットワークを自動的に検索し始めます。

3.ワイヤレスネットワークを選択

選択されたネットワークがフリーであれば、ScanPad は自動的に接続します。

選択されたネットワークがロックされている場合、ネットワークのパスワードの入力が必要となります。ネットワークパスワードについてはご契約のプロバイダにお問合せ下さい。

4." 接続済み" の表示が出てきたら、 をタップしてホーム画面に戻ります。

注意：Wi-Fi を必要としない時、この機能をオフにして電池を節約出来ます。



一度接続済みのネットワークのリストから名前、接続スピード、セキュリティ情報、IP アドレスを確認することができます。診断機がネットワークの接続範囲内であれば、自動的に保存されたネットワークに接続します。

3.2 Wi-Fi 接続の解除

1.ホーム画面、設定-> WLAN.


2.接続済みのネットワークを選択し、切断ボタンをタップしてください。

4. 診断方法


車両を診断する必要なソフトウェアは「」(ScanPad101)のアプリケーションで使用できます。診断を始めるには「」をタップしてアプリケーションを起動して下さい。

4.1 診断ソフトウェア画面レイアウト



1.  をタップしてメニューを表示します。チャプター4.2 機能メニューを参照して下さい。
2. VINSCAN ボタン：タップして車輛の VIN コードをスキャンして下さい。OBD 読取、VIN スキャン機能、VIN 手動入力機能も利用できます。
注意：VINSCAN 機能を利用するためには診断ソフトウェアと Auto Search ファイルをダウンロードしてインストールする必要があります。
3. 診断ソフトウェアロゴ：車輛診断を始めるには正しい診断ソフトウェアのダウンロードが必要です。ダウンロード前は DEMO ソフトのみがダウンロードされています。
4. 車輛地域別カテゴリー：タップして地域別のメーカーを選択することができます。
5. 履歴（ヒストリー）タブ：車輛診断が行われるとシステムは診断プロセスをすべて記録します。履歴機能は一度診断した車輛情報に再度アクセスし、ユーザー様が最後に行った診断プロセスから再スタートしたい時に使える機能となっています。
6. 検索バー：使用したい診断ソフトウェアや車輛モデルを素早く検索できるシステムです。
7. ログイン/ユーザーアイコン：ログインするにはログインボタンをタップしてユーザー名とパスワードを入力して下さい。ログインするとユーザー名、ニックネーム、性別、メール、地域、写真等を自動的に登録されている情報へと変更します。

4.2. 機能メニュー

 をタッチして、機能メニューを開きます。メニューには以下の項目が含まれます。

名称	説明
車両診断	診断ソフトウェアを選択して診断を始めます。
修理データ	各メーカーの車の修理データの検索と参考データを提供します。
アップデート	車の診断ソフトやシステムソフトの更新

プロフィール	コネクタ、レポート、パスワードの変更とログアウトの管理
設定	システムの設定・変更

4.3 車両との接続

準備

通常テストの場合

イグニッション ON にして車両の電源を確保する。

車のバッテリーの電圧範囲は 9-14 ボルトです。スロットルは閉めた状態で診断して下さい。

対象車両のコネクタの選択

テスト車両に 16 ピンの OBDII ポートが装備される場合は、内蔵の診断コネクタ (16PIN 用) を使用してください。(16 ピン OBDII 以外が装備される車には別売りの専用コネクタが必要です。)


4.4 Bluetooth 設定

ScanPad の Bluetooth 設定画面(設定 > Bluetooth)から Bluetooth スライドを ON にすると ScanPad は自動的に利用可能な Bluetooth デバイスを検知します。接続するデバイスをタップすると接続します。

初期設定の Bluetooth の名前は 98519*****00(*****には 5 桁の数字が入ります)。

注意：診断ソフトウェアを起動する前に Bluetooth が設定されていない場合でも後から Bluetooth を設定することができます。詳しくはチャプター4.5 の“診断を始める”を参照して下さい。

4.5 診断を始める

「」をタップした後、車両診断ボタンから車両選択ページに入ります。

車両診断ソフトウェアにアクセスする為に 2 通りの方法があります。

【A】VINSCAN はより早く簡単に診断ソフトウェアにアクセスできます。この場合自動スキャン(OBD 読取)と手動入力(INPUT VIN)が利用可能です。



OBD 読取: このモードでは診断コネクタが車輛の DLC に接続されている事が必要です。

また、ScanPad と車輛の間で Bluetooth 通信環境が整っていることが必要です。

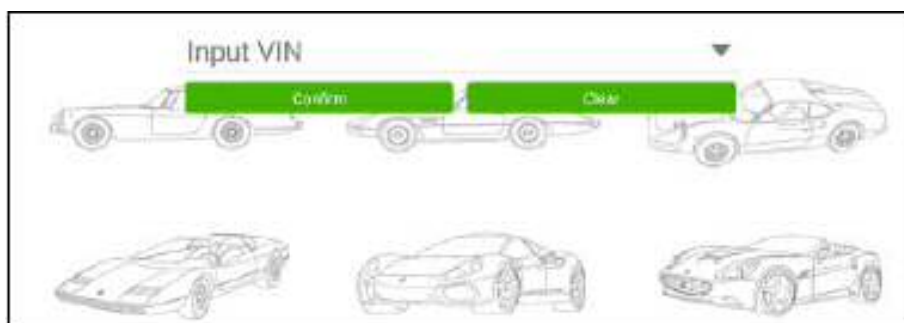
“OBD 読取”をタップして車輛の VIN をスキャンして下さい。スキャンが完了し VIN 特定が成功すると ScanPad は自動的に診断ソフトウェアを起動します。

注意：この機能を使う前に正しい診断ソフトウェアと Auto search ファイルがダウンロードされていることを確認して下さい。

手動入力(INPUT VIN): このモードでは VIN を手動で入力して下さい。一般的に VIN コードは 17 ケタの数字とローマ字で構成されています。

VIN コードを見つけるのに一番一般的な場所はダッシュボードの左端コーナーですが車輛によって異なります。

“INPUT VIN”をタップすると図の 4-14 の様に現れます。



VIN を入力して”確認”をタップすると診断ソフトウェアを起動します。

【イ】正しい診断ソフトウェアロゴをタップして画面の説明に従って診断ソフトを起動します。

* DEMO ソフトウェアを参考に診断ソフトの起動方法を試して下さい。



テスト可能な車両モデル：ソフトウェアで診断できる車両。

アップデート提示：アップデートされたソフトの説明。

ソフトウェア提示：ソフトで診断できる機能。

注意：注意事項の説明

Bluetoothツールを検索する：接続可能なデバイスを検索して、診断機と適合したコネクタをペア設定してください。

確認：現在の動作の実行を確認します。

確認ボタンを押して Bluetooth の接続をスキップしてデモ画面に入ります。（注意：デモは Bluetooth が接続されていない状態で行ってください）



”エンジン”ボタンを押して、システムの機能メニューに入ります。



4.5.1. DTC データの読み取り

この機能は車のコントロールシステムに記録された DTC の詳しい情報を表示します。

機能メニューから”DTC 読取り”ボタンを押して、診断結果を表示します。



ホームページ：ホーム画面に戻ります

検索：特定の DTC アイテムをハイライトして、そして選択した DTC の意味をインターネットで検索します。

翻訳：内容が英語で表示された場合に翻訳ボタンをタップすると自動的に機械翻訳されます。

報告：現在の診断データを保存します。

情報追加	
1E4GEAK12FT00001X	
車持ち主の名前:	
ナンバープレート:	
検証人:	
備考:	
スキップ	確認

レポートを見分け易くする為、レポートに情報を追記する事ができます。例えば車体番号、名前、テスター情報。入力完了後、確認ボタンを押して、情報をレポートとして保存します。保存しない場合は、スキップボタンを押してください。

全てのレポートはプロファイルの”私のレポート”の中の診断レポートに保存されます。詳しいレポートの操作方法は、4.9.4の”私のレポート”にて参考にしてください。

フリーズフレーム：排気システムに関する不具合が発生した場合、車両の特定の情報はオンボードコンピューターに記録されます。この情報はフリーズ・フレームデータと呼ばれます。フリーズ・フレームデータは DTC が記録された場合の重要な数値をスナップショットとして含みます。

ヘルプ：ヘルプインフォメーションをチェックする。

4.5.2 故障メモリーの消去

車の故障コードの読取りの後、修理が実施された事を確認してください、この機能を使って車の故障コードを消去することができます。この機能を実行する前に必ず車のエンジンをオフの状態にしてください。

機能メニューの”故障メモリーを消去”ボタンを軽くタップすると、システムは自動的に現在の故障コードを削除します。

注意：故障が完全に修理されるまで、故障は表示されるので注意して下さい。

4.5.3 データストリームの読取り

この項目は車の ECU からライブデータと実測値の読み取り、表示ができます。

機能メニューの”データ読取り”ボタンを押してください、データストリーム項目が表示されます。



現在のページ：現在の画面の全ての項目を選びます。

選択範囲を反転：選択した項目の選択を解除します。

ホームページ：ホーム画面に戻ります。

確認：確認してから次のステップへ。

対象の項目を選択した後、確認ボタンを押して、データ読取りページに進みます。

DEMO V14.93 > システム選択 > ECM(エンジンコントロールモジュール)

データストリーム名	値	基準値	ユニット
アクセルペダル位置	8.63	0-100	%
アクセルペダル位置センサー2	5.93	0-10	V
エンジン冷却水温度	-18	-40-100	degree C

Bottom navigation bar: ホームページ, グラフ, 記録, 翻訳, 私のレポート, 報告, ヘルプ



ホームページ : ホーム画面に戻ります。

グラフ : ボタンを押すと数値をグラフ化して表示します。3つディスプレイモードが表示されます。最も適合したモードで各種のパラメーターを読むことができます。パラメーターは曲線のグラフで表示されます。

値 - デフォルト (基本) モードです。数値が数字で表示されます。

カスタマイズ : このオプションは主に2つ以上のグラフデータを比較する為のモードです。比較したいグラフを選択して確認ボタンをタップするとグラフが結合して比較できます。

記録：タップすると後の分析のための診断データを記録することができます。記録ファイルは自動で名前が付けられ、プロファイルメニューのマイレポートフォルダーに保存されます。記録ファイルの再生の仕方はマイレポートの項目 4.9.4 を参照してください。

データストリームのレコーディングを止めるには、レコーディングプログレスバーの前の□をタップしてください。

翻訳：内容が英語で表示された場合に翻訳ボタンをタップすると自動的に機械翻訳されます。

私のレポート：私のレポートに保存されているレポート、リモート診断レポート、診断記録プレイバックを再生できる画面に移動します。

ヘルプ：軽く叩いてヘルプインフォメーションを閲覧できます。

1 ページ以上のデータストリームが表示された場合、画面真ん中下に矢印のアイコンが現れます。スクリーンを左から右へスワイプして次のページに切り替えてください。◀(戻る)を軽く叩いて、機能セレクト画面に戻ります。

4.5.4 動作テスト

このオプションはシステムパラメーターが正常かどうかを見つける事が可能です。主に以下の内容が含まれます：インジェクターテスト、燃料ポンプテスト、パーシコントロールソレノイドなど。

"1#インジェクター"を例として。

1#インジェクターが正常動作かどうかは、"#インジェクター"を軽くタップすると、システムは自動的にこの機能を行います。完了後、ダイアログボックス画面がスクリーンに現れます。

4.5.5 履歴を見る

車検診断が行われるとシステムは診断プロセスをすべて記録します。履歴機能は一度診断した車検情報に再度アクセスし、ユーザー様が最後に行った診断プロセスから再スタートしたい時に使える機能となっています

1. "履歴"を押すと、すべての診断記録が作成日時順で画面に表示されます。

診断コネクタの指示灯が青になる場合、車の DTC が見つからなく、黄色になった場合車の DTC に接続したと示します。

2. 1つの項目を選んで履歴記録に進みます。

3. "修復"を押して直接システム選択画面に入ります。

4. 対象システムを押して、画面の指示により操作を実行させます。

4.5.6 特殊機能

診断機能の他に SCANPAD は様々特殊な機能サービスを提供します。サービス機能は以下が含まれます。

- ・ オイルリセットサービス
- ・ ステアリングのアンクル測定
- ・ 電源、パーキング・ブレーキのリセット。
- ・ バッテリーの登録、整備
- ・ ABS ブリージング
- ・ 電子スロットルポジションリセット
- ・ ディーゼル微粒子捕集フィルター (DPF) 再生
- ・ タイヤ空気圧モニターシステムリセット

オイルリセットサービス

この機能は以下の場合で実施する事が可能です。

1. サービスランプがついた場合、メンテナンス後にランプを消去しなければなりません。メンテナンス後、ドライビングマイルやドライビングタイムをリセットして、サービスランプは消灯します、そしてシステムは新しいサービス周期に入ります。
2. エンジンオイルと電機器具の交換をした後、サービスランプのリセットが必要です。

ステアリングアンクル測定

ステアリングアンクルをリセットする手順：車がまっすぐ走行する時のゼロポジションを見つけ出してください。このポジションを基準にして、ECU は左右のステアリングの正確なアンクルを計算します。

ステアリングアンクルポジションセンサーの取り替えが終わった後、ステアリングの機械部品（例えば：ステアリングギヤボックス、ステアリングコラム、タイロッドエンド、ステアリングナックル）などの交換の後、4輪アライメントを実行する時、または車体修理の時は必ずステアリングアンクルのリセットが必要です。

ブレーキパッドのリセット

1. ブレーキパッドにブレーキウェアーセンサーが装着されている場合は、センサーが車の内蔵コンピューターに信号を発信し、ブレーキパッドの交換を促します。ブレーキパッドの交換の完了後、必ずブレーキパッドのリセットを行ってください。

電子スロットル位置のリセットと学習

この機能はスロットルアクチュエータを初期化する事ができます、ECU に保存された学習データがデフォルト状態に戻ります。スロットルを調節して空気の取り入れ量をコントロールします。

バッテリー登録/バッテリーメンテナンス

このオプションはバッテリーのリセットを実行する事が可能です、元のバッテリーの情報は消されます、そしてバッテリー・マッチングが自動的に行われます。

ABS-ブリージング ABS のエア抜き

この機能は様々な面から ABS の動作状態をチェックする事ができます。

タイヤ空気圧、モニターシステムのリセット

1. タイヤ空気圧の警告灯が点灯し、メンテナンスが実行された後、モニターシステムをリセットし警告灯を消す必要があります。
2. 以下の場合タイヤ空気圧モニターシステムのリセットを行ってください：タイヤの空気圧が異常に低い、タイヤの空気漏れ、タイヤ圧空気圧モニターリング装置を交換した、または装着した場合。タイヤ空気圧センサーが故障した場合、または、タイヤ圧空気圧モニターリング機能付きのタイヤに交換された場合。

ディーゼル排気微粒子フィルタ (DPF) の再生


DPF 再生は DPF フィルターの PM (微粒子状物質) を継続燃焼モードを使って除去し、フィルターの性能を安定させる為に使われます。

4.6. 修理データ

このオプションは様々な車両の自動車技術ハンドブック、修理事例、プログラミング/ コーディングガイド、DTC ヘルプを閲覧する事が出来ます。データは随時アップデートされていきます。

4.7 アップデート

より良いサービスと機能を得るため、常にアップデートする事をお勧めします。

 をタップして、機能メニューを開きアップデートセンターに入ります。



アップデートしたいソフトウェアのボックスにチェックを入れて”ワンクリックアップデート”ボタンをタップしてダウンロードを始めます、完了するまでは少し時間がかかる場合があります。ダウンロード中断するには”停止”ボタンを押してください。再開するには、”ダウンロードを続けます”ボタンを押してください。

全てのソフトがダウンロード完了した後、システムは自動的にソフトウェアのインストールを始めます。

4.8 プロフィール

ユーザーに自分の情報管理機能を提供します。

4.8.1 連絡先

追加したアカウントとチャットする事ができます。

4.8.2 マイコネクター

この項目は登録された全てのコネクターの管理の為に使用されています。

複数の診断コネクターを診断機に登録して使用する場合、コネクターのリストが画面に表示されます。別のアカウントで登録したコネクターを使用する際には一度ログアウトし、正しいログイン情報を再度入力してログインして下さい。

4.8.3 コネクターを登録

診断コネクターを登録する際に使用します。

シリアル番号とアクティベーションコードを入力します。正しく入力された場合は”作動”ボタンが緑色に変わりクリックして登録できる様になります。

4.8.4 ファームウェアの修復

診断コネクタが正常に作動しなくなった場合など、この項目を使って、診断ファームウェアの更新と修復をします。修復中は電源を切る、または違うインターフェースに切り替えしないでください。

4.8.5 診断レポート

この項目では車の診断過程で作成された診断レポートを閲覧する事が出来ます。さらに名称変更、削除やシェアの機能も利用可能です。

”私のレポート”ボタンを押すと、3つのオプションが選択できます。

1. 診断レポート：診断中に保存したレポートを閲覧できます。
2. リモート診断レポート：リモート診断した場合の診断レポートが保管され、閲覧できます。
3. 診断記録プレイバック：記録データとして保管された記録の再生等を行うことができます。

4.8.6 個人情報

個人情報の確認と設定をする為の項目です。

4.8.7 パスワードを変更

この項目でログインパスワードを変える事ができます。

4.8.8 ヘルプ

機能説明、FAQ、クイックガイドとユーザー取扱説明書が含まれます。

4.8.9 ログアウト

ログアウトするには”ログアウト”ボタンを押してください。

4.9 設定

アプリのセッティングやソフトウェアのバージョン情報をチェックする事ができます。

4.9.1 診断ユニット設定

メートル法とヤード・ポンド法(インペリアル法)の切り替えして測定単位を設定できます。

4.9.2 オリエンテーション

アプリの画面の向きを設置する為のオプションです。

4.9.3 満期リマインダー設定

プリインストール済みの診断ソフトがある場合は 30 日間無料で使用する事ができます。満期リマインダーの機能がオンの場合、期限が満了すると診断ソフトは自動的にロックされ、システムはコネクターの登録を促します。

4.9.4 印刷情報設定

このオプションはプリントする情報を設定する為に利用します。整備工場ロゴ、会社名、住所、電話番号、ファックスなどの情報を予め登録しておけば、印刷の際に自動で印刷されます。入力完了後、“保存”ボタンで保存してください。

4.9.5 ワイヤレスプリンター設定

プリント操作を実行するときスキャンパッドとワイヤレス WI-FI を接続するために設定されたオプションです。

以下の手順でプリンターを接続してください。

1.“Launch ワイヤプリンター設定”をタップして。

A.初めてプリンターを操作する場合、次のステップを実行してください：

2. 最初使用には、プリンターのリセットを推奨します：「モード」&「フィード」ボタンを 8 秒間押し続けて、次のリセット指令がプリントアウトされます。

At+不履行 = 1

OK

At+再起動.... = 1

再起動....

3.“リセット”ボタンをタップして WI-FI プリンターを設定してください。

ステップ 1：プリンターに接続

“スキャン”ボタンをタップして適合した名前は X431 プリンター-XXXX (X は 4 つの識別ナンバー) プリンター・ ホットスポットを選択し、そして“接続”ボタンを押してステップ 2 に進みます。

ステップ 2 : WI-FI プリンターがインターネットに繋がります。

“スキャン”ボタンをタップして最適のローカル WI-FI ネットワークをリストから選択し、対応したパスワードを入力し (フリーネットワークの場合、パスワードは要求されません)、さらに“確認”ボタンをタップしてください。

4.インターネットに保存された WI-FI プリンターが見つかったら、“プリントテスト”ボタンを押してプリント機能をテストしてください。

WI-FI プリンターを使ってプリントアウトができます。

プリンターが見つからない場合、プリンターをリセットし、出荷時の デフォルト設定に戻し (詳しい情報はステップ 2 に参考してください) 診断機とプリンターは同じネットワークに繋がっている事をチェックしてください。

B.WI-FI プリンターをインターネットに接続した場合。

2.“プリンターに接続”ボタンをタップして。

a) ネットワークに記録されたプリンターを使うとき、直接“プリンターテスト”ボタンをタップし、プリント機能をテストできます。

b) ネットワーク環境が変わった場合。WI-FI プリンターをリセットしてください。

4.9.6 診断フィードバック

ソフトの分析や開発の為に診断ソフトに問題があった場合フィードバックして情報を開発部署へ提供する項目です。車両情報の収集、不具合等の特定と具体的な解決策を決めてから、販売店や代理店からメーカーへ情報をフィードバックします。フィードバックする際には状態を出来るだけ細かく、英語で記入し、説明しなければならない為、通常の使用中にこの機能を使用することは避けて下さい。

4.9.7 ScanPad について


ソフトウェアバージョン情報、重要事項説明、使用許諾契約書を確認する事が出来ます。

5. その他の機能


5.1 eメール

メールの送受信が出来ます。

5.1.1 メールアカウントの設定

 **注意：**メールを送受信するにはeメールアカウントを設定する必要があります。また、メール機能を使用するには安定したインターネット環境が必要です。

1. ホーム画面で Email をタップ
2. 任意の Email アカウントの種類を選択
3. メールアドレスとパスワードを入力して”次へ”をタップ

 **注意：**”手動で設定”を選択した場合、詳細数値の設定はeメールのサービスプロバイダにお問い合わせください。

4. 画面上の説明に従ってアカウントの設定を終了させてください。

5.1.2 eメールアカウントの追加

1. 設定をタップ>アカウント
2. “アカウントの追加”をタップ
3. 任意のアカウントの種類を選択

5.2 ブラウザー

5.2.1 ブラウザーを開く

ホーム画面でブラウザーをタップし画面を開く。任意のホームページまたは、ウェブサイトアドレスを選べます。



Fig. 5-1

1. 前の画面に戻る
2. 最近見たページの履歴

3. ページを再読み込み
4. 現在のページを閉じる
5. 新しいタブを開く
6. ウェブアドレスを入力
7. 現在のページをお気に入り登録する
8. 検索バーを開く
9. お気に入りリストを開く
10. オプションを見る

5.2.2 ファイルのダウンロード

ファイル、画像、アプリケーションはブラウザ上のウェブサイトからダウンロードできます。例えば；

画像をタップして押したままにするとポップメニューが現れ、“イメージの保存”を選ぶと画像がダウンロードされます。

リンクを保存するにはリンクをタップして押したままにして“リンクの保存”を選びます。

ScanPad やあなたの個人情報を守るためアプリケーションをダウンロードする際は信頼できる配信元からのみ行うようにして下さい。セキュリティの設定は、“設定”>“セキュリティ”の順にタップし、信頼できない配信元(Unknown Sources)を OFF にして下さい。

5.3 同期

Scan Pad のメディアファイルや APK は PC との間で交換することができます。

5.3.1 PC との接続

1. USB ケーブルを使って ScanPad と PC を接続して下さい。
2. 画面上部から”メディアデバイスに接続されました”とメッセージが表示されます。

5.3.2 アプリケーションのインストール

以下の手順を追って設定して下さい。

1. “信頼できない配信元”を ON にすることで様々な配信元から APP をインストールできるようになります。
2. ダイアログボックスが現れたら OK をタップ
3. ツールをメディアデバイスとして接続に設定し APK ファイルを PC からコピーします。

5.4 閲覧履歴の削除

閲覧履歴を削除する事によって ScanPad がよりスムーズで素早く作動します。

1. . 設定をタップ > Apps
2. ≡ をタップして“サイズ順に並べる”を選ぶとアプリケーションの容量の大きい順に並びます。
3. 履歴を削除したいアプリケーションを選び“閲覧履歴の削除”をタップすると履歴ファイルが削除されます。

6. Q&A

1. バッテリーがすぐ終わってしまうがどうすればよいですか？

- Scan Pad を仕用していないときは電源を切りましょう。
 - スタンバイ時間を短く設定しましょう。
 - 画面の明るさを調整しましょう。
- Wi-Fi 接続を必要としない場合は WLAN 接続を OFF にしましょう。
- GPS 機能が必要ない場合には設定を OFF にしましょう。

2. 画面ロックのパスワードを忘れてしまったのですがどうすればよいですか？

スクリーンロックはパターンかパスワードを設定できます。もしパスワードを忘れてしまった場合には販売代理店に問い合わせてください。

▲スクリーンロックのパスワードを忘れてしまった場合、販売代理店を通してメーカーに ScanPad 一式を送り返しリセットする方法があります。その場合は送料と手数料が別途発生します。

3. もしシステムの動きが遅くなったら？

次の項目をチェックして下さい

作動中のアプリケーションをチェックして、不要なアプリケーションを閉じましょう。(ステップ:設定 > Apps > 作動中 > アプリケーションを選択して STOP をタップ)

インストールされたすべてのアプリケーションをチェックして、不要なアプリケーションを削除しましょう。(ステップ:設定 > Apps > ダウンロード済の Apps > アプリケーションを選んで”アンインストール”をタップ)

上記を試しても症状が改善されない場合、デバイスの再起動をお勧めします。


4. ストレージが不十分です”のメッセージが表示されました。

診断ソフトウェアをダウンロード中にこのメッセージが表示された場合次の手順を試してください。


まずは ScanPad101 のホームページ www.scanpad101.com から「使い方&修理事例」にアクセスし、「ヘルプ」の中にある「SD カードの内部ストレージ化」の①～③のいずれかをお試しください。

万が一ストレージ不足が解消されない場合は以下の通りにお問い合わせください。

1. ユーザー名、パスワード、シリアル番号を用意して販売代理店までお問い合わせください。
2. 販売代理店を通してメーカーに ScanPad 一式を送りデバイスのリセットを行います。

 販売代理店やメーカーに ScanPad を送付する場合、タブレットと VCI を含む全てのアクセサリーや付属品を必ず同封して下さい。付属品が同封されていない場合、作業ができない場合があります。

5. Scan Pad のリセット

 ScanPad は販売代理店やメーカーの指示がない場合には絶対にリセットを行わないでください。デバイスが工場出荷状態（初期状態）になり、デバイス上のすべてのデータが消えてしまいます。リセットについて詳しく聞きたい場合は必ず販売代理店かメーカーにお問い合わせください。

6. ウェブサイトのビデオ動画が再生されない場合があります・・・。

原因として以下が考えられます。

1. ブラウザーが Flash Player をサポートしていない。
2. Flash Player がビデオをサポートしていない。
3. 他のブラウザで試すが、Flash Player をインストールしてみて下さい。

7. Scan Pad の日時が設定できない・・・。

日時自動選択機能がオンになっている可能性があります。設定をタップ>日時設定から自動設定を解除して手動で日時を設定して下さい。診断レポートはデバイスで設定されている日時によって保存されるので、診断を始める前にデバイスの日時が正しく設定されているかどうか確認して下さい。

注意

このユーザーマニュアルに記載されている写真や画像、イラストレーションはあくまでもデモンストレーション用であり、マニュアルの内容や実際のデバイスでの仕様は予告なく変更されることがあります。

7.SCANPAD 保証規約

- ◎TAPS INC.では本製品を最初に購入したお客様に限り、製品を保証いたします。
- ◎本製品を譲渡する事はできません。
- ◎通常の使用状態で、本製品本体に不具合が生じた場合には、ユーザー登録された日付から1年間無償で修理・交換致します。
- ◎保証を受ける際には、本製品にレシート（納品書）を添え、お買い上げの販売店にご依頼ください。
- ◎改造や修理を当社または当社が認めるサービスマン以外によって行われた場合は、本保証は適用されません。
- ◎本製品に初期設定でインストールされている以外の機能の追加や、アプリケーションのインストールなどを行った場合の不具合などの保証は致しません。
- ◎コネクタを12V以外の車両に使用して生じた不具合については保証致しません。
- ◎お客様の過失によって生じた不具合や故障については保証致しません。
- ◎日本国外で使用した場合の不具合や故障については保証致しません。
- ◎前述以外に生じる間接的損害の費用は一切責任を負いかねます。
- ◎当社が発行する本保証では、本製品の交換以上の保証は行われません。